

# 全国労働衛生週間

## セイワ新聞

### 令和5年度スローガン

### 目指そうよ二刀流

### 「いいこと」から「だの健康職場」

労働衛生分野では、高齢労働者をはじめとした労働者の健康管理、過労死等の防止を含めた長時間労働による健康障害の防止対策やメンタルヘルス対策、病気を抱えた労働者の治療と仕事の両立支援をサポートする仕組みを整備します。また、化学物質対策では、特定化学物質生体予防規則、石綿生体予防規則などの関係法令に基づく取組の徹底を図るとともに、各事業場におけるリスクアセスメントの結果に基づきリスク低減策の実施を促進していきます。

全国労働衛生週間は、今年で第七十四回を迎えます。一から七十四回の間、全国労働衛生週間は、国民の労働衛生に関する意識を高揚させ、事業場における自主的労働衛生管理活動を通じた労働者の健康確保に大きな役割を果たして来たところである。労働者の健康をめぐる状況については、高齢化の進行により、一般健康診断の有見率が上昇を続けているほか、何らかの疾病を抱えながら働いている労働者が増加することにも、女性の就業率が上昇し、働く情勢の健康問題への



日付 2023年10月 1日  
発行所 本社 北九州市八幡西区本城 一丁目12-27  
TEL 093-693-2017  
FAX 093-693-2016

の対応も課題となっている。また、中高年齢の女性を中心に、転倒などの労働者の作業行動に起因する労働災害が高い発生率となっている。人生百年時代に向けて高齢労働者が安心して安全に働ける職場環境作りを推進していくためにも、高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドラインに基づく対策の推進とともに、労働者の健康管理や治療と仕事の両立への支援をさらに推進していく必要がある。また、過労死等事案の労働災害認定件数は、令和四年度には九百件以上となっており、引き続き過労死等を防止するためには、働き方改革の推進と相まって、長時間労働による健康障害の防止対策の推進が必要である。このうち、特に精神障害による労災認定件数は令和四年度には七百件以上と過去最多となっており、メンタルヘルス対策をさらに強化していく必要がある。

さらに、労働者の健康確保において、産業医の選任義務のない小規模事業場における体勢確保や取組の推進が大きな課題となっている。これらの事業場は全体の九十六%を占めており、小規模事業場における健康確保対策の推進が重要である。化学物質による休業四日以上労働災害は、四百五十件程度で推移し、特定化学物質生体予防規則等の特別規則の規制の対象となっていない物質を起因とするものが全体の八割を占めている。また、化学物質等に

よる重大な遅発性の職業性疾患も後を経たない。このため、厚生労働省では、従来、特別規則の対象となっていない全ての危険・有害な物質への対策を強化する為、事業場が自ら行ったリスクアセスメントの結果に基づき、ばく露防止の為に講ずべき措置を適切に実施する制度を導入した。この仕組みを有効なものとするため、ばく露の上限となる濃度基準値の設定、危険性・有害性に関する情報伝達の仕組みの整備・拡充を行うため、所要の法令改正を順次、行っていく所である。また、職業がんの労災保証の新規支給決定者は、石綿の製造・使用等が禁止される前に罹りつつある中皮腫・肺がんを中心に年間約千人にも及ぶと、石綿の製造・使用等が禁止される前に石綿含有建材を用いて建設された建築物が今なお多数現存している。その解体工事が二〇三〇年頃をピークとして、増加が見込まれる中、解体・改修前に義務付けられている石綿の有無に関する事前調査や石綿の発散防止措置が適切に講じられていない事例が散見されたことを踏まえ、一定の建築物などの解体・改修工事については、資格者による事前調査や、石綿事前調査結果報告システムを用いた報告の義務化など、石綿によるばく露防止対策の強化を進めている。このように状況を踏まえ、第十四次労働災害防止計画において、令和五年度より「自発的に安全衛生対策に取り組むための意識啓発」や「労働者の作業行動に起因する労働災害防止対策の推進」等合計八個に重点を定め、労働災害防止対策を進めている。

### 建設業における業務上疾病の発生状況

1. 業務上疾病者数  
全産業の疾病者数9,506人のうち、建設業は711人で全体の7.5%

業種	建設業	全産業
平成30年	697	8684
平成31年/令和元年	605	8310
令和2年	696	8997
令和3年	617	8739
令和4年	711	9506

3. 酸素欠乏症発生状況  
令和4年の全産業の被災者数は6人、うち建設業へ3人

業種	平成30年	平成31年/令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
建設業	0	1	1	1	3
全産業	7	5	12	3	6

4. 硫化水素中毒発生状況  
令和4年の全産業の被災者数は6人、うち建設業へ3人

業種	平成30年	平成31年/令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
建設業	1	0	3	2	0
全産業	10	5	9	6	5

5. 振動障害の状況  
令和3年度の全産業の労災新規認定数は221人、建設業は121人(54%)

業種	平成30年	平成31年/令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
建設業	139	137	150	146	121
全産業	291	281	285	269	221

6. 熱中症の状況

業種	平成30年	平成31年/令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
建設業	239(10)	153(10)	215(7)	130(11)	179(14)
全産業	916(52)	829(25)	959(22)	561(20)	827(30)

(注) ( )は死亡者数。

### 建設工事従事者の「安心」「安全」「快楽」のため 建設現場でメンタルヘルス対策に取り組んでみましょう!

不眠・疲労状態が続くと...

健康KY

無記名ストレスチェック

不安な行動等  
集中力・注意力の低下  
認知能力の低下  
脳機能の低下  
前頭葉の血流の低下  
コルチゾールの過剰分泌

高ストレス  
うつ  
睡眠不足

建設現場での安全施工サイクルに「建築防方式健康KY」、「建築防方式無記名ストレスチェック」による職場環境改善の取組みを導入した、メンタルヘルス対策を実施してください。建設工事従事者の高ストレス、うつ、睡眠不足が続くと脳内の各種機能が低下し、不安全行動を起こしやすくなり、事故・災害発生のリスクが高くなります。

**建設業 news**

**鉄骨 仮設置後に落下か 二人死亡 東京駅近くの作業事故**

令和五年九月某日、JR東京駅近くビル建設現場で鉄骨が落下し男性作業員2人が死亡した事故。クレーンで吊り上げていた鉄骨の仮設置を終えた直後に事故が起きたとみられる。梁となる鉄骨をクレーンワイヤで吊り上げて七階部分に設置する作業中だった。死傷した作業員五人はいずれもワイヤで吊り上げていた鉄骨の上で作業していた。五人とも命綱となる安全帯を身につけて、鉄骨とつながっていたとみられる五人はいずれも同じ下請会社の従業員だという。

**マイクロリフト落下 下敷き男性 死亡 ドラッグストア作業事故**

令和五年九月某日、ドラッグストアオープンに向けた工事をしていたところ、床下部分で補強していたコンクリートが折れて崩落した。コンクリートは幅約1m、厚さ60cm、長さは10m以上。地下で作業をしていた方が下敷きになり、死亡が確認されました。

セイワの安全方針を今一度  
「安全は、全てに優先します」  
「安全の確保は全ての基本です」

# セイワ新聞

日付 2023年 10月 1日  
 発行所 本社 北九州市八幡西区  
 本城 丁目12-27  
 TEL 093-693-2017  
 FAX 093-693-2016

がんを知って、  
**がん検診に行こう！**

いまや二人にひとり、がんになる時代。しかし恐れる事はありません。がんは**早期発見すれば、9割以上が治ります**。そのためには、**早い段階からがん検診へ行くこと**が大切です。まずは、**がんを知ること**から、**ためになる楽しいイベント**が始まります！

## 自分のため、愛する人のために For yourself, for your loved ones.

～がん検診啓発イベント～



**福岡県**  
Fukuoka Prefecture

- 女子学生と共同制作した啓発グッズ・チラシの配布
- 体成分測定
- 骨密度測定
- 県産早味かん提供 (3個1セットを無料で先着100名限定！)

検診くん  
福岡県がん検診啓発担当  
イメージキャラクター



**福岡市**  
FUKUOKA CITY

- 射の大会開催  
パストック天神店の割引クーポンがもらえる！  
※数に限りがあります。
- がん啓発チラシの配布

よからもん、ぼちやもん  
福岡市健康づくりイメージキャラクター

**射的 COUPON**



←セイワ掲載中

「ふくおかファミリ」み削減  
 応援サイト開設

今回福岡県において、県民事業者の「ファミリ」ごみ削減の取組を応援、サポートするため、ファミリ「ごみ削減」に関する情報を分かりやすく、タイムリーに発信する「ふくおかファミリごみ削減応援サイト」開設しました。

①ふくおかファミリごみ削減協会の紹介  
 業種・エリア・取組内容 キーワードをもとに簡単に検索することも可能です。

②積極的に取組む事業者のインタビュー記事「イチオシ協力店」  
 ③県内のイベント情報  
 ④身近な取組事例の紹介

## 北九州市が目指すSDGs

「真の豊かき」世界に貢献し、信頼される「グリーン成長都市」を目指して

二〇三〇年までに目標

五つのまちの姿

一、社会課題解決につながる持続可能なビジネスが生まれ育ち

二、ダイバーシティの推進によるみんなが活躍できるまち

四、環境と経済の好循環によるゼロカーボンシティを目指す

三、SDGsを踏まえた教育の実践による未来の人材が育つまち

五、アジア諸都市を中心とした世界のグリーンシティをけん引するまち

北九州市トピックス  
 ☆高校生たちのSDGsプロジェクトコンテスト  
 今年5月5日の開催となる「みらい出子園」今地球が直面する気候変動、牛豚系、水、資源問題などの環境問題から世界や日本の地域社会が抱える貧困、食糧問題、格差社会やエンカル消費などのテーマについて高校生が主体的に課題を探究し、チームを組んで、未来に向けた目標達成に向けた解決策を発表・表彰する大会となります。

昨年度は、グローバルな解決アイデアから地域の課題解決に向けた様々なアクションアイデアが生まれ、応援企業や団体との協働によりアイデアを実現したチームの

マシソンも始まっています。  
 ☆「福岡県障がい者テレワークオフィス運営等補助金事業」テレワークオフィス型 オフィス障がい者雇用・定着支援サービス  
 ☆SDGs市民活動スタートアップも援手事業  
 北九州市は、公害対策の経験が培われた技術力や市民力を基に、環境モデル都市として、環境や国際協力などの分野でSDGsを先取りする取組を行い、国内外から高い評価を受けています。  
 自身の問題として、緒に考えてみましょう。



## 発見！福岡のおいしい幸せ ふくおか地産地消応援ファミリーだより

福岡県では、ふくおかの農林水産業を理解し、県産農林水産物を積極的に利用する「ふくおか農林漁業応援団」作りを進めています。セイワは、社会貢献活動の一環として福岡の農林水産業を応援する「応援団体」です。皆で一緒にふくおかの農林水産業を盛り上げて行きましょう！

**福岡県産みかん「早味かん（はやみかん）」出荷開始です！**  
 福岡県は温州みかんの収穫量が全国8位の全国有数の産地で、9月から年明けまでいろいろな品種が販売されます。

「早味かん（はやみかん）」は福岡県が開発した品種で、県内限定で栽培され、福岡県産みかんのトップバターとして9月中旬頃から販売が始まります。丸い果実に、ギュッと詰まった甘みと、適度な酸味のバランスが絶妙で、とても美味しくジューシーな食感が特長です！  
 ぜひとも「早味かん（はやみかん）」をご賞味ください！



**い草で和のあたたかさを実感しませんか？**

福岡県の南部は、い草の生産が盛んな地域であり、品質の高い畳表や花ござが生産されています。中でも、「博多華織（はかたかわり）」は、減農薬、天然染土を使って栽培した県産品種「筑後みどり」を使用した県産ブランド畳で、コシが強く、弾力性に優れた特長を持ちます。

い草には、抗菌作用や消臭効果があると言われていいます。また、上品な香りはリラックス効果をもたらします。

福岡県産の、い草の色や香りで和のあたたかさを感じてください！

**入札情報**

工事名 折尾・中環線(仮)電線移設撤去工事(5-1)  
 場所 北九州市八幡西区折尾  
 工期 令和5年9月1日から令和5年11月30日  
 担当 M・T さん



福岡県より  
 社員の皆様！今回は現場でのお忙しい中、インタビュー、写真撮影等、快く対応して下さい、ありがとうございました。心温まる良い経験でした。感謝！！

**今号の注目の人**

M・O さんインタビュー

好きな食べ物？ **生もの**  
 好きな有名人？ **大谷翔平**  
 好きな言葉？ **一仕事片付け**  
 仕事で嬉しかったことは？ **桁かけが上手いかった時**  
 仕事で一番大切にしている事 **手戻りが無いこと**  
 セイワに入って良かった事 **大切にしてもらってるからな(笑)**